



赤佐っ子だより

令和5年2月
浜松市立赤佐幼稚園

節分を通して育まれたこと

1月の赤佐っ子だよりで節分の行事に関する紹介をしました。今年もこの行事を通して、たくさんの関わり、育ちの姿が見られました。そのエピソードを一部紹介したいと思います。下記の記事は年中組クラスだよりから抜粋したものです。

ちょっと怖いんだけどね、楽しいの！！



この言葉は、1月の中旬からお家で節分の鬼のことを心配していた子が、伝えて来てくれた言葉です。その日は年長組が製作で鬼の被りものをつくり、思い立って鬼になりきり、年中組の部屋にも遊びに来てくれました。突然のことに一瞬は固まった子供たち。その後、子供たちはどのような姿を見せたと思いますか？「やっつけるしかない！」と考えました！始めは棒や空き箱をもって鬼に立ち向かったのですが、「これじゃあやっつけられない。豆だ！！」と気づき、自分たちで豆をつくり始める子もいました。鬼が怖い子たちは、自分たちで考えて鬼の入れない要塞（段ボールやソフト積み木のお家）をつくり上げ、鬼を見張る望遠鏡まで用意していました。ただ怖がるだけでなく、鬼を退治するために子供なりに何かしようとする力や、自分が安心できる場をつくったうえで怖がりながらもその状況を楽しむ力をもっているのだと改めて実感したエピソードでした。



その他にも、鬼のお面作りをして、自分が鬼になってみる経験をしたよ。楽しいな♪



なんだ！すみれのお兄さんか！
実際の鬼と偽物の鬼の間で、揺れ動く気持ちも大切！



自分のお腹の中には、どんな鬼がいる？「いないよ！」と言っていた子も、絵本を見たり、友達の話聞くうちに「今、おこりんぼ鬼いた！」「朝、おぼすけ鬼がいて起きられなかったんだ。」「鼻ホジホジ鬼いたかも！」と自分の行動を省みる姿が見られてきました。



鬼が入れないお家もあるし、鬼のお家もあるよ！

実際につくった被り物を活用し、他の学年を脅かしにいく子供たち。鬼になって楽しんでました。教師たちが驚き怖がる姿を期待し、職員室に入ってくることも（笑）。教師のリアクションが大きいと、お面越しに喜んでくれるんです。被り物やお面1つで、園内は異学年が入り混り、ものすごく関わり合います。まさに、ドキドキワクワクの展開です。鬼を見て子供なりに何とかしようとする姿には、社会を生き抜く力に通じるものが感じられました。

今年もきっと、怖がるお子さんのケアをしてくださったお家の方、たくさんいらしゃったことでしょう。また、お子さんの体験に共感し、思いを受け止めてくれた方もいらしゃったことでしょう。子供たちの体験、学びを支えてくれて、ありがとうございました。

自分で考え、行動する状況をつくる

3学期に、好きな場所で昼食を食べてもいい機会（どこでもランチ）を設けています。すみれ組、たんぽぽ組、ちゅうりっぷ組、どこで食べてもいい、という条件です。2回目の時は、預かりの部屋を加えました。また、これから行う3回目はさらに遊戯室を加え、子供たちがワクワク楽しんでもらえるように提案を準備しています。



「懐かしいからここにしよう!」「この前はここで食べたから今度はこっちにしよう!」……。理由は様々ですが、子供なりの思いがあり、その思いに触れると面白かったりほっこりしたりします。「どっちにしようかな?」と悩みながら決める子もいましたよ。

その子なりの思考の過程はありますが、自分で決めて行動したこと、それが結果として楽しかった体験を味わうことには価値があります。この小さな決断の積み重ねが、生きる力へとつながっていくことと思います。

令和5年度より、教育目標が変わります

昨日「令和5年度 赤佐幼稚園の教育について」を配布しました。予測不能な社会を生き抜いていく力が求められている中、幼児期の教育で育みたいことは何かを改めて考えた結果、一人一人の有り様、個性を認めつつ、その子の主体性を尊重し、自分で考える人間を育てることを目指し、教育目標を「その子らしく、生き生きと遊ぶ赤佐っ子」としました。具体的には、3つの子供像を掲げています。1つは、自分の力でいろいろなことができるようになる「自立」。1つは、自分で物事や人との関わり方を考え、判断し、行動できる力を付ける「自律」。1つは、幼児期のうちから自分とは違う人がいることを知り、いろいろな子と集団生活を共にする中で育ち合える関係を目指す（尊重）です。目標は大きく変わりますが、遊び中心、直接体験を重視した保育であり、やること自体がこれまでと大きく変わることはありません。また、入園した直後の子に対し、いきなり自律や尊重を求めるには無理があるように、発達段階や個に応じた援助にも配慮していきます。

教育目標

「その子らしく、生き生きと遊ぶ
赤佐っ子」

目指す子供像

- ・自分の力で行う子（自立）
- ・自分で考え行動する子（自律）
- ・共に育ち合う子（尊重）

評議委員会を開催しました



1月下旬に第2回幼稚園評議委員会を開催し、令和4年度の園評価・反省を報告すると共に、園の教育、経営について委員の皆様から御意見をいただきました。

来年度の経営に活かし、赤佐幼稚園がより良い教育施設となるよう努めていきます。

浜松市で今、意見を募っています



職員室前に「浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針（案）」についての資料が置いてあります。すぐにではありませんが、今後の赤佐幼稚園に大きく関わることで、現在、市民から意見を募っています。（期間は3月16日（木）まで）ご興味のある方は資料をお持ちいただき、御覧ください。